

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

宗教学法人カトリック福岡司教区 小倉カトリック幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・円満な家庭を中心にし、その子どもを養育する責任者である保護者を助ける教育をする。
- ・キリスト教精神に基づいて、しつけ、および道德教育を行う。
- ・年齢に応じた体づくりにより、子どもの将来の豊かな人格を目指す自主・自立の精神を養う。
- ・集団生活を通して、協調性と人々への思いやり、心の豊かさを身に付ける。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
1 保育の在り方	C	職員の人材確保が難しく配置に苦慮したが、教職員間で協力体制を整え、共通認識を図ったことにより、日々の保育や活動、行事を行うことが出来た。各年齢に応じた保育計画を立て、幼児の姿や思いに沿って臨機応変に工夫し柔軟性を持つことに重点を置いた。「幼児への対応」の意識も高まったが「寄り添い方」について十分では無く反省点があった。
2 教師の資質向上	B	保育を通して課題や問題点を教職員で考え、保育を見直し、幼児理解に努める時間を持つように努力した。また、資質向上に対しては園内・園外研修に積極的に参加し、誠実に学ぶ場を設けるように今後も取り組んでいきたい。
3 安全危機管理	B	前年度の反省を踏まえ、避難訓練の回数を増やした。また全教職員で連携し保育や活動中の怪我や事故を未然に防ぐよう心掛けた。教職員間でそれぞれ担っている役割を再確認してきたが、全員が同レベルの認識を持つよう周知を徹底し、常に意識付けをしていきたい。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	教育目標・方針を日々の幼児教育で浸透させ、幼児の成長の一助となるべく努力してきた。幼児への助言の仕方や対応については、全職員で適切であるか見直し、一人一人が課題を意識し、より丁寧に対応できるように取り組んでいきたい。併せて、保護者との情報の共有、連携についても更に検討していきたい。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 保育の在り方	保育計画や幼児への関わり方を定期的に全職員で共通認識を深める
2 教師の資質向上	様々な研修に定期的に参加し資質の向上を目指し保育に活かす。
3 安全危機管理	安全危機管理において各役割を理解、意識すると共に訓練を実施する。

6. 学校関係者の評価

- SNSでの発信により家族間で情報の共有が増え、絵本の会開催（未就園児）なども良かった。
- 幼稚園と保護者の連携や情報共有などより密に行って欲しい。
- 人材確保は大切であるが、保護者で手伝える事や役割分担等、協力していきたい。